

筑紫女学園大学
社会福祉研究部の
みなさんと楽しいひととき



オセロは負けないよ♪



みんなで描いたぬりえ♪

聖ヨゼフ園 ボランティア情報紙

「わ」

～人と人とのつながりを大切に～

□ 発行元：社会福祉法人 慈愛会
聖ヨゼフ園
 □ 住所：三井郡大刀洗町山隈374-1
 □ 電話：0942-77-1393
 □ メール：volun@jiaikai-fuk.or.jp
 □ 編集：地域福祉部

第10号 2013年7月発行

第4回ボランティアインタビュー

現在、当園にボランティアとしてお越しいただいている方々に質問をするコーナー。
 第4回目は、『筑紫女学園大学 社会福祉研究部 部長 宮原 菜さん』にお話を伺いました。

社会福祉研究部
部長 宮原 菜さん

筑紫女学園大学 社会福祉コースの3年生。
 社会福祉研究部の主な活動は、障害のあるお子さんの託児や当園でのボランティア活動。部員は約25名。
 平成23年12月より、当園において、月1回、入所された方々へのお話し相手や制作等でのボランティア活動



聖ヨゼフ園地域福祉部では、ボランティアの広報や情報交換などのために定期的に訪問させていただいております。訪問先は近隣の市町村の社会福祉協議会やボランティアセンターなど様々です。今年度も新年度の挨拶をかねて、様々な所を訪ねさせていただけました。今回は、その中の一つとして、お話を少し紹介したいと思います。

その機能が地域で活躍しているボランティア活動の場所、私達が把握していない活動もたくさんあるんですよ。ある活動の始まりは、高架下で伸び放題になった雑草が気になり、近所に住む男性が草刈りをしてくださいになりました。たことから、他の人が手伝うようになり、一人、また一人と参加者が増えて、ボランティア活動として定着するようになりました。

自然と生まれるボランティア

またある団体は、趣味で作った手芸品などを、バザーで販売するという、活動内容自体は直接ボランティアとは関係のない団体です。しかし関係のない団体でも、お話し相手やボランティアに接的な形でボランティアに関わっているといえます。

「〇〇のボランティア、募集します！」というものが、参加する事も、とても立派なボランティアです。しかし、このように一人ひとりが自分で考えた、行動を起して始めた自然発生的なボランティアというものは、本来のボランティアという形こそ、私達にはなじみがないかもしれません。そう思うと、私達は日頃から自分では意識せず、ボランティアと言えぬ活動に巻き込まれている事があるかもしれません。ボランティアの活動のおもしろさや楽しさ、自分たちがしたい事を、自分たちで実現したい。そんな思いが、ボランティア活動のきっかけになるのだと思います。



聖ヨゼフ園では随時ボランティアに来てくださる方を募集しています。
活動内容：お話し相手、お散歩、ゲーム、朗読、音楽など様々です。
 詳しくはホームページ・ボランティアブログでもご覧いただけます！
 ⇒HP：<http://www.jiaikai-fuk.or.jp>

ボランティア募集!

★お申込み・お問い合わせ★
 ⇒電話またはメールにてお待ちしております。

お気軽にどうぞ♪
 見学だけでも大歓迎です!

★ボランティアを始められた動機・きっかけは何ですか？

社会福祉コースに入學した時に、経験としてボランティアをしてみたいと思いました。

2年生の時に社会福祉研究部へ入部し、初めてのボランティア活動が聖ヨゼフ園でした。今まで障害のある方と話す機会が少なく、正直話すことへの苦手意識がありました。しかし実践に入所している方と接してみると、緊張もせず、自然体でいられた。それから、それが障害のある方と関わるのが楽しみへと変わりました。

★今後の抱負をお聞かせ下さい

活動のバリエーションを増やしていきたくて、今以上に自分達も楽しんできたいです。

今後も、コミュニケーションをとりたいながら、次はこうしてみよう！という工夫もしていきたいです!

インタビュー後記
 素直な「想い」を語っていただき、こんなにも当園に入所されている方の事を想っている事に感銘を受けました。ありがとうございます。(本・原田)